

FP Topics

2018年7月号

つみたてNISAとiDeCo

★つみたてNISAとは

2018年1月からスタートした、最後発のNISA制度です。掲載している比較表でも確認いただけます。20歳以上の人で、年間40万円まで20年間、総額800万円まで、つみたて運用可能です。この口座から生じた運用益は非課税となり、所得税を負担しません。投資対象商品は金融庁により厳選されており、信託報酬等の運用コストも厳しく制限されています。金融庁最新の情報では、約5,000本の投資信託の中から148本の商品を対象としています。

★iDeCo（個人型確定拠出年金）とは

DC制度（確定拠出年金）における個人型の確定拠出年金制度です。確定拠出年金制度は、自分の年金（老後資金）を自分で積み立てるイメージです。2017年1月からは、20歳～60歳までのほぼすべての人が個人型確定年金制度に加入することができます。この制度は非常に節税効果が高く、NISAと同じく運用収益に対する所得税は非課税です。また、拠出額（掛け金）も全額【所得控除】となります。NISAと大きく異なるところは、60歳までは払い出しすることが出来ませんが、払い出し時には【退職所得控除】が適用され、**高い節税効果が期待**されます。

つみたてNISAとiDeCoの比較

	つみたてNISA	iDeCo
対象者の年齢	20歳以上	20歳以上60歳未満
拠出時	所得控除の摘要なし	全額所得控除
運用時	20年間運用益非課税	無期限で運用益非課税
払い出し時	元本に課税なし	元本も含めて原則課税
年間拠出限度額	40万円	14.4万円～81.6万円
累計拠出限度額	800万円	上限なし
対象商品	投資信託・ETF	投資信託・元本確保型商品
払い出し制限	特になし	原則60歳まで不可
非課税枠の管理	スイッチングや分配金再投資は非課税枠を消費	口座内でのスイッチングや分配金再投資は自由

★つみたてNISAの投資対象

つみたてNISAの投資対象は、金融庁が厳選した投資信託とETFのみとなります。ETFとは株式市場に上場している投資信託です。投資対象商品は非常に厳しい要件が設定されています。

【政令の要件】信託契約期間が無期限又は20年以上／毎月分配型ではない。など

【商品の要件】販売手数料が無料／信託報酬が一定割合以下／金融庁へ届け出されている。など

★iDeCoの投資対象

iDeCoの投資対象とつみたてNISAのそれとの大きな相違点はiDeCoでは**元本確保型商品でも運用可能**となります。定期預金や保険商品などです。これらから生じた利息等についても非課税となります。投資信託での運用も選択できますが、つみたてNISAの様に商品が厳選されているわけではありません。また、単体の株式投資はiDeCo投資対象となっておりません。

iDeCo拠出額の節税効果（所得控除）

iDeCoの節税効果を下の図で確認してみます。それぞれ加入対象者の相違により、年間掛金の拠出限度額が144,000円～816,000円までになります。それぞれの掛金と課税される所得税率及び住民税率により、節税される金額は逓増します（赤枠内）。

課税所得	税率		年間掛金			
	所得税	住民税	144,000	240,000	276,000	816,000
195万円以下	5%	10%	21,600	36,000	41,400	122,400
195万円超 330万円以下	10%		28,800	48,000	55,200	163,200
330万円超 695万円以下	20%		43,200	72,000	82,800	244,800
695万円超 900万円以下	23%		47,520	79,200	91,080	269,280
900万円超 1800万円以下	33%		61,920	103,200	118,680	350,880
1800万円超 4000万円以下	40%		72,000	120,000	138,000	408,000
4000万円超	45%		79,200	132,000	151,800	448,800

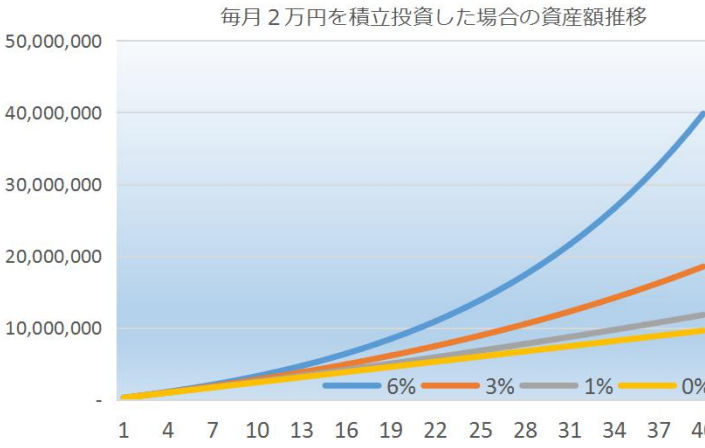
＝ お金にも効率的に働いてもらう＝

6月号でも触れておりましたが、老後資金を効率よく手当てすることはたいへん重要になってきます。今回特集している、《つみたてNISA》《iDeCo》は非常に優れた機能を有しています。両者に共通した機能としては、時間を味方につける『積み立て』による投資です。右上のグラフで示している通り、毎月2万円の積み立てによる40年に及ぶ複利効果は大きなアドバンテージとなります。平均6%のパフォーマンスを実現できれば、40年ではほぼ4,000万円近い資産額となるようです。単純計算で4,000万円を6%で運用できれば、年240万円稼げる計算になります。毎月20万円取り崩したとしても、元本は減少しないことになりそうです。ご夫婦で2万円ずつ40年間チャレンジしてみるのも楽しいのではないのでしょうか。

もう一つの優れた機能としてあげられるのは、高い節税効果です。この優れた節税効果は《iDeCo》の大きな特徴の一つです。運用益の非課税は《つみたてNISA》と同様ですが、拠出額が全額【所得控除】となります。上の図で確認いただけますが、所得控除額は、所得税率及び住民税率に比例して逓増します。（例）拠出額144,000円（毎月12,000円）所得税率20%住民税率10% ⇒ 概ね43,200円の節税となります。都市銀行の定期預金利率は現在0.01%。100万円を1年間預けて得られる利息は100円（税込み）です。43,200円の利息を得るには43,200 ÷ 100 = 432倍。1,000,000円 × 432 = 4億3,200万円預ける計算になります。制度をしっかりと理解して、お金の置き場所をしっかりと考える必要がありそうですね!!

つみたて投資による複利効果

毎月2万円をつみたて投資した場合、複利効果による資産額推移を、0%～6%までのパフォーマンスでグラフにしています。年間24万円を40年間つみたて投資した場合、0%ではタンス預金の無利息960万円ですが、6%のパフォーマンスで40年間運用できるとすると4,000万円近くになるようです。



～今月の山便り～

今月の山便りは、大峰山系 川迫川 神童子谷の神秘的な“ゴルジュ”『へつついさん』です。“ゴルジュ”とはフランス語で、両側の岸壁が狭まっている渓谷を意味します。その昔は泳いで突破していたそうですが、近年では水量が減少しているらしく、ひざ下になっていることもあるようです。私が遡行した際は、腰上あたりまで水量があり、美しい景観を見せてくれました。この谷の水の冷たさはまた格別です。本当に神秘的な場所で、この山城特有の大峰ブルーを堪能しました。『へつついさん』は入渓地点からそんなに遠くはありません。最近では山岳用品店等のキャニオニング企画もあるようです。機会があれば是非チャレンジしてみたいはいかがでしょうか!!

